

チクバ外科広報誌 vol.21

2019. March

はなし×ちくば

特集 開設50周年に向かう挑戦

Chikuba Hospital for Gastrointestinal and Colorectal Surgery

特集 開設 50th Anniversary 周年^{かう} に^に向^向 挑^挑戦^戦 「福利厚生編」



理事長・院長
竹馬 彰

今回は、増改築のテーマの一つであったスタッフの福利厚生の充実に関してお話しします。

平成21年の病院の新築移転時にはスタッフは80名前後でした。新築移転後、特に内視鏡検査を中心とした外来患者数が飛躍的に増加しそれに伴いスタッフも徐々に増え現在では130名近くになっております。当然更衣室は分散し、休憩するスペースも不十分、何より食事をするスペースが狭くなっていました。

増築棟はすべてスタッフのためのスペースです。1階にはスタッフ数に十分対応できる更衣スペースを設けました。2階には研修室を従来のおよそ2倍のスペースに拡げて設けました。ここではスタッフの各種研修はもちろん外部講師をお呼びしての講演会や患者さん向けの講習会なども計画していこうと思っております。

そして何よりもメインは3階に設けた食事スペースです。およそ15年前から昨年増築棟が完成するまで

諸処の事情でスタッフの昼食はお弁当をとっていましたが。なんとか温かい食事をとってもらいたいと考え、栄養課の協力も得て温かい食事をとってもらえるよう3階に広いランチスペースを設けました。各自で料理を盛り付けるバイキング形式とし、3方を大きな窓にして周囲の景色が楽しめるようにしました。また窓の外には植栽を施し木々に囲まれた雰囲気 연출し、スタッフがリラックスして食事を取り休憩できるスペースを目指しました。

スタッフが楽しそうな会話をしている姿をみてこのスペースを設けてよかったと確信しています。

チクバ外科は患者さんに満足していただける専門的な医療の提供を目指しています。それを支えるの



はスタッフの頑張りであり、働きやすい職場環境をつくっていくこともとても大事なことだと思っています。今後もこの姿勢を貫いていこうと思っています。

院長交代に寄せて

昨年11月に瀧上前院長から院長を受け継ぎました。瀧上先生には18年間という長い間院長としてチクバ外科を引っ張っていただき我々後進の医師をはじめスタッフ一同感謝にたえません。今後も名誉院長兼内視鏡センター長として活躍していただき引き続きご指導をお願いしたいと思っています。

さて、引き継いだ私は嶋村副院長、垂水副院長を核として医局一丸となり、今後「大腸肛門領域を中心とした消化器専門病院」というチクバ外科の理念をますます充実発展させていきたいと思っています。

特に肛門領域では中四国地域において基幹病院となっており、開業以来46年間、いろいろと肛門疾患の診断、治療、看護などに関する経験が蓄積されています。この経験の蓄積を次世代に継承していきたい、その願いを実現させていきたいと思っています。

また今後の医療・社会保障のあり方は様々な職種、関係機関の連携が重視されています。

そこで「つなぐ」を合言葉に技術の継承、地域の各種機関とのつながりを深めていき、少しでも多くの患者さんのお役に立てるよう進んでいきたいと思っています。皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。



院長退任のご挨拶

名誉院長 内視鏡センター長 瀧 上 隆 夫

私は21世紀を迎える年2000年(平成12年)に、現会長竹馬浩先生に、「瀧上君、何もせんでえ〜から、院長をやつてくれ」と拜命し、昨年10月まで18年間に亘り院長職を全うさせて頂きました。この間、私の健康上にも問題なく、会長先生ご夫妻がご健在の間に、次世代の彰理事長・院長にバトンが渡せたことが何よりの幸せと感じております。これも、ひとえに、今まで病院を支えて下さいました職員の方々、ご指導頂きました諸先生方、関連企業の方々、何よりも病院を信頼してご来院下さいました多勢の患者さん方のお蔭であると心より感謝し、この紙面をお貸りしまして厚く御礼を申し上げます。

私は、今年の年賀状に「勤我信念(きんがしんねん)」と書かせて頂きました。院長就任当時、自分に何ができると考えた時、自分には能力が無く、やれるとすれば誰よりも早く出勤し、休まず、どなたよりも早く挨拶すると決め、実行してきました。その間には、病院も新築や改築をし現在のような素晴らしいものに至りました。会長先生の大腸肛門病を中心に診察する透徹した信念を土台に、彰

副院長就任のご挨拶

副院長 垂 水 研 一

この度、平成30年11月よりチクバ外科・胃腸科・肛門科病院の副院長、IBD(炎症性腸疾患)センター長に就任いたしました垂水です。

消化器内科医として当院に赴任してから4年が経ちます。昭和47年に開設した、伝統ある当院は竹馬浩会長の



理事長、院長のIBDもやりたいとの考え方も浸透してきています。医療も日進月歩、時代に遅れをとらず、益々、病院が栄えることを、ご祈念しています。私も医師として42年間勤めてきましたが、自分には出来なかつた「医療」というものは、医学という学問の土俵の上で相撲をとる“という事を後進の皆様にご心掛けて頂きたいと思えます。今後は私も名誉院長として、皆さまの御手まといにならぬよう、微力ながらも今迄通りお役に立てればと考えています。皆様、更なるご指導、ご鞭撻の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



先見性のある病院運営により肛門疾患診療、消化管内視鏡検査を中心に46年に渡り岡山の医療を牽引して参りました。昨今、薬剤の進歩により肛門疾患の手術治療は全国的に減少傾向ではありますが、現代病ともいえるIBD患者の増加、若年者も含めた大腸癌患者の増加など、今後も当院の専門性を活かした実地医療への役割りは大きいと考えます。

また、様々な制度や社会背景が変化していく中、人々が病院に求めることも当然変わってきており、そういったニーズに病院として応えていくことは必要だと感じています。

ご挨拶

副院長 嶋村 廣 視

この度当院は開設50周年を前に、病棟を増改築し診療スペースを拡充することができました。今まで、特に外来受診される患者の皆様には駐車場も含め狭いところでご迷惑をかけておりましたが、少しゆつたりとしていただけると幸いです。

同時に診療体制も変更し、院長が交代し、副院長2人体制となりました。これまで当院は代替わりする度に「本ずつ診療の柱を増やして参りました。

竹馬浩現会長が当初肛門疾患の専門病院として立ち上げ、瀧上名誉院長が大腸内視鏡を駆使して癌やポリープを含む大腸疾患診療に幅を広げ、竹馬彰理事長・院長が更に炎症性腸疾患（IBD）を3本目の柱として現在に至っております。

長きに渡り外科病院でありましたが、内科医の垂水医師が着任されて4年が過ぎ、この度副院長として加わることで、幅広い診療体制で今後も大腸肛門疾患を中心とした消化器専門病院でありつづけたいと願っております。

柔軟に変えるべきところは変えながらも、しかし病院の理念である「当院は大腸肛門領域の疾患を中心にした消化器専門病院として地域の医療に貢献いたします。」という根幹はぶれることなく、活動していくことが大事だと考えています。

竹馬彰理事長・院長を中心に、瀧上名誉院長、嶋村副院長、根津外科部長、鈴木診療部長、谷浦宴会部部長、そして信頼する病院スタッフ全員が同じ目的を目指せるように、副院長として病院をまとめて行ければと微力ながら努力したいと考えております。押忍。

また、近年注目されている大腸肛門機能障害の診療が十分行えるよう、この度新しく肛門内圧検査、排便造影検査、肛門3D超音波検査などが可能となりました。これまで感覚的に捉えていた所見を可視化・数値化し、より詳細に解析することで治療に繋げることが出来るようになります。便秘や便失禁でお困りの患者さんのお役に立てれば幸いです。

今後とも宜しくお願い申し上げます。



医療 いま昔 事情

Medical Circumstances

話山方四療診門肛

夫 隆 上 瀧 名 譽 院 長



受診した当時のチクバ外科は病床数19の医院でしたが、私の眼には、小なりと言えどもやたらとピカピカ光っているように写りました。診察室で待っていると、白衣を着た先生が現れました。ナント、よく

観ると、先ほど、医院の前の庭で、植込みの手入れをしていたおじさんではないですか!! 真っ黒に日焼けした顔に、真っ白な歯がとても印象的でした。その方こそがご高名の竹馬浩先生だったのです。診察が終ると、「瀧上君、これは肛門周囲膿瘍と言うて、痔瘻の始まりだ。今回は切開排膿しておくので、後日、根治手術に来て下さい」と言われ、局所麻酔で切開して頂きました。痛い所に、注射されるのがどれ程痛いか、御照覧あれ。「先生、やめて下さい」と大声で叫びたのを覚えています。(この人、大袈裟な方と思うかも知れませんが、患者さんとはこんなものです)

後日、入院の上、根治手術をして頂きました。入院は2週間でしたが、入院中、療養の身にも関わらず、竹馬先生は私を、パ

チンコ、麻雀にもお誘い下さいました。麻雀では強豪竹馬先生に、お尻を切られた上にお尻の毛まで雀り取られたのでした。パチンコにもご一緒させて頂いたのですが、今から思えば、術後1週間ぐらいで、パチンコも出なかつたが血もでなかつたのが幸でした。

入院中は、私はまだ医学の医も知らない時でしたので、看護師さん達の会話が理解できません。「今日はマーゲン(胃)の手術があるんよ」「マーゲンって何? ワーゲンはドイツの車だが、どこの車なんだろう」「コロン(結腸)をきれいにしておかなきゃ」「コロンって、どこの化粧品会社なんだろう、オーデイコロンはよく聞くけど」と、こんな調子だったのが懐しく思い出されます。今になって聞くのですが、私は40数年前、何せ部屋代を無料にして頂いたので、自分で退院手続きをしなければいけないとは知らず、結果的に私はまだ退院してないとのことでした。

竹馬先生、当時の職員の方々に、この紙面をお貸りし、厚く御礼申し上げます。お世話になりました。(つづく)

当院のスペシャリストを紹介する

Special One

栄養課 調理長 石川 和正



食のプロが目指す一流の病院 ～美味しかったの言葉を糧に～

厨房の現状・役割・やりがいについて教えてください。

昨年9月に管理棟が完成し、栄養課も1階から眺めの良い3階へと移設しました。また、開放的な空間を活かした、ビュッフェスタイルで提供するスタフランチがスタートしました。温かい食事が提供できるように、職員の方々に大好評をいただいております。

胃腸科・肛門科ですので、専門病院に特化した食事作りにも力を入れています。たとえば、便秘予防の為に食物繊維を多く含む食事や手術後の患者さんには消化吸収の良い食事です。もちろん美味しさにもこだわっています。当院には炎症性腸疾患（IBD）の患者さんもいらつしゃいます。IBDチームとして栄養課でも患者講習会（料理講習会）をしています。食事は毎日のことですので悩みを持つ方も多くおられます。講習会を通して少しでも患者さんの食生活のサポートが出来ればと思っております。

チクバ外科に入職して感じたことを教えてください。

僕が入職したのは2011年です。再就職ではありますが、以前と合わせて約14年間お世話になっていきます。その年は病院にとって変化の年だったと記憶しています。栄養課でも世代交代、組織改革、コスト削減、メニューの改善とめまぐるしい1年でした。不安はありましたが、栄養課も丸となってやっていたというモチベーションになりました。入職時に彰理事長よりいただいた「食事の事は任せなぞ」という言葉を今でもよく思い出します。彰理事長の期待に応えられるよう、先輩方がつなげてくださったレシピも守りながら、時代にあった食事作りをしていきたいと思っております。

仕事で大切にしていることは何ですか？

すべての患者さんに合わせた食事提供、そして味はもちろんですが盛り付けた際の見た目も大事にしています。おいしそうに見える工夫も不可欠です。年間行事にも力を入れており、管理栄養士・調理師で何度も話し合っており、季節感のあるメニュー作りにもこだわっています。食事の世界も常に「食材・技法・味付け」と新しい料理が生まれています。世の中の流れをしっかり把握し、組み込んでいきたいと思っております。

また、僕は調理長として任命を受けていますが、部下あつてこそその管理者だと思っております。常に現場に入りお互いにリスベクトし合える存在でありたいと思っております。

趣味・休日の楽しみは何ですか？

5年ほど前から地域の子どもの会での行事に休みの大半を使っています。今はソフトボールチームの監督兼コーチとして年間活動しています。大変な立場を授かっていますが、ひとりの育成者として日々子供達に深い愛情を持って接し、共に汗を流して頑張っています。めざせ地区大会優勝ですかね（笑）

平成最後の号に採用していただきありがとうございます。（感謝）
「美味しかった」の二言の為に、日々努力してまいります。



当院で研修されている専攻医を紹介する

New Resident

医師 河瀬 信
MAKOTO KAWASE



さわやかな笑顔が素敵な河瀬先生！
先生の魅力に迫るべくインタビューしました。

医師を目指した理由は？

理由はありません(笑)。学生時代の僕は仕事に全く夢や希望を抱いてなかったんです。でもとある出会いを経て、刺激を受け、今はずべての患者さんに喜んでもらえる医師になりたい！手術が上手になりたい！そういう気持ちで日々の業務に取り組んでいます。

チクバ外科胃腸科肛門科病院にこられたきっかけについて教えてください。

今年度から始まった新専門医制度により、制度の詳しい内容は僕も知らないので省略しますが、研修期間にこうして新しい環境を経験でき、新しい人々と関われることは、自分にとって刺激にもなりますし学びの面でもとても有意義だと感じています。

チクバ外科胃腸科肛門科病院に入ってみて実際のいかがでしたか？

大病院と比較して、スタッフの数も入れ替わりの頻度も多くないので、働きやすい環境だなと感じます。研修病院としても内視鏡、肛門疾患、炎症性腸疾患など、他の専攻医には申し訳ないくらい、貴重な経験をさせていただいております。将来スタッフとして働けるなら雇っていただきたいです！

日々の診療で、心掛けている事は？

僕や森先生は、新専門医制度二期生に当たります。スタッフの先生方は僕らの姿勢や態度を見て、「今後専攻医にはここまで任せてみよう」と考える、はずです。なので患者さんの安全を第一に考えつつ、与えられた

チャンスをものにできる様に、日々準備とイメージトレーニングをしています。

年上の方が多いのですが、緊張されますか？

僕の場合年齢に関係なく初対面の人には緊張するので(笑)。でも経験豊富な先生方ばかりなので、手術でも内視鏡でも、「何かあれば俺がすべてカバーしてやるからやってみろ！」とばかりに、挑戦する機会を与えてくださるのでとても助かっています。

今後の抱負をお教えてください。

一番の目標は「痛くない内視鏡」です。理想を言うなら、患者さんが寝ている間に終わるような、鎮静なしならお話ししている間に終わる様な。

一度でも患者さんから「今日の検査が一番楽でした」と言われてみたいです。

趣味やプライベートの楽しみは？

昨年、長男の泰知(たいち)が誕生しまして、ほんとに世界一ですよね。すべてが。最近離乳食も始まってかわいい盛りです。最近僕の発注ミスで家庭菜園に大量のプロッコリーが植えられているので、泰知にはぜひプロッコリーが好きな子供に育ててほしいです(笑)。

ご自身を動物にたとえるなら。

…ハシビロコウですかね。知っていますかね？ハシビロコウ。最近動物園に行つて、あの堂々とした立ち振る舞いに刺激を受けました。どうか、自分もこうありたいと思いました。将来の自分がハシビロコウのような人物になっていることを願っております。

期待のニューフェイス

板谷ひとみ

HITOMI ITADANI

調理補助 栄養課勤務

趣味・ストレス解消法

ドライブ・音楽鑑賞

好きな言葉

ありがとう

日頃接する人

感謝の気持ちを忘れず

笑顔で接していく事。



期待のニューフェイス

内海由香

YUKA UTSUMI

看護師 病棟勤務

趣味・ストレス解消法

小旅行 動物を見にいき、
癒されています

好きな言葉

自分らしく

外科は初めてですが、患者様、ご家族が

少しでも笑顔になれるように

看護を行なっていきたいと思います。



期待のニューフェイス

矢原小津枝

KOZUE YAHARA

調理補助 栄養課勤務

趣味・ストレス解消法

テニス・マラソン

好きな言葉

チャレンジ

入院患者さんに美味しい朝食を

食べてもらえるようにがんばって早起します。



期待のニューフェイス

福田祐子

YUKO FUKUDA

看護助手 病棟勤務

趣味・ストレス解消法

詩吟・ウォーキング

好きな言葉

感謝

患者様の不安を軽減していただくために

明るく、笑顔に努めます。



期待のニューフェイス

堀井敏子

TOSHIKO HORII

調理補助 栄養課勤務

趣味・ストレス解消法

テニス

好きな言葉

ポジティブ

間違いのない配膳を

患者様にお届け出来る一助になるよう

努力したい。



期待のニューフェイス

三宅幸江

SACHIE MIYAKE

事務 総合受付勤務

趣味・ストレス解消法

お菓子をつくること、食べること

好きな言葉

初心忘るべからず

笑顔で、心のこもった対応が

出来るようにしていきたいです。

よろしく願い致します。



スタッフ紹介

スポットライトインタビュー

角野友子

TOMOKO KAKUNO

看護師 病棟勤務

趣味・ストレス解消法

カラオケ

好きな言葉

希望

患者様、ご家族様に対し
やさしき思いやりを忘れないよう
日々心がけて看護しています。



スタッフ紹介

期待のニューフェイス

武野陽子

YOKO TAKENO

看護助手 病棟受付勤務

趣味・ストレス解消法

旅行・マルシェ巡り

好きな言葉

念ずれば花開く

周囲の支えに感謝し、
ポジティブシンキングに努めます。



チクバ外科のフラワーロード(その2)

会長 竹馬 浩

チクバのフラワーロードは病院の外回り担当職員の汗の結晶でおよそ20年間かかってここまでになった。日本水仙、寒咲き菜の花、ムスカリ、チューリップ、マーガレットに続いて約200本のアガパンサスは見応えがある。夏はヒマワリ、秋はコスモスと順番が決まっている。

「センセー!ちいたあ変わったもんはネンカノォ!」と言う声があったので、去年は南京豆(落花生)を植えたら大豊作で、生の豆を鞘のまま塩茹でにして職員に食べてもらったら「こりゃウマー」と胃袋が納得したようだった。これだからフラワーロードは年中忙しい。



入院で提供している食事を特集

★チクバ自慢の人気メニュー★

春キャベツロール トマトソース煮込み

【材料(2人分)】

春キャベツ 大きめ4枚
ベーコンスライス 4枚
小麦粉 小さじ1
合挽きミンチ 200g
玉ネギ 中1/2個(みじん切り、炒める)
卵 1個

A
パン粉 大さじ2
牛乳 大さじ3
塩・コショウ
カットトマト水煮缶 1缶
玉ネギ 中1/2個(くし切り)
キャベツの茹で汁 400cc

B
ケチャップ カップ1/3
砂糖 大さじ1強
鶏ガラスープの素(顆粒) 小さじ1
みりん 大さじ2

【作り方】

- 1 キャベツは芯に切込みを入れ一枚ずつはがし茹でる。芯をそいでみじん切りにする。
- 2 ボールにAの材料と芯のみじん切りを入れ粘りが出るまで手でこねる。
- 3 Aを4等分にし、俵型にする。キャベツに小麦粉をふり、たねを手前から巻く。その上からベーコンを巻いてつまようじでとめる。
- 4 鍋に油を入れ玉ネギを軽く炒めて、Bを入れ30分煮込む。(ゆでたブロッコリー等添える)

管理栄養士の豆知識!



一般的なキャベツに比べ、春キャベツは少し小さめで丸く、葉と葉の間隔がゆるくふわっとしており、水分が多く柔らかいのが特長です。栄養価に関していうと両者であまり違いはありません。キャベツにはビタミンCやKの他に、葉の名前にもありますが、キャベジンと呼ばれるビタミンUを含んでいます。これは胃や十二指腸などに対する抗潰瘍作用があり、潰瘍の予防や治療に非常に高い効果があります。

今回はトマトソースを使って煮込みましたが、シンプルにコンソメや寒い時期にはホワイトソースなど色々な味付けで楽しめます。



Medical
recipes

栄養価(1人分)
エネルギー: 535kcal
たんぱく質: 24.2g
脂質: 24.1g
食物繊維: 5.5g

はなし×ちくば

チクバ外科胃腸科肛門科病院 広報誌
第21号 2019年3月発行

広報誌「はなし×ちくば」は、患者や医療従事者の皆さんに専門性の高い医療活動をより分かりやすく紹介しています。

タイトルのとおり「はなしかける」ように発信することで、よりよい関係を築いていくことを目指します。

社員食堂が完成し、とても活気があります。「従業員満足は戦略である」という書籍を先日目にしたのを思い出しました。
病院に求められることも日々変わり、変化を余儀なくされますが、組織の根底にある「変わらないもの」も大切にしていきたいと思えます。



編集
後記

ACCESS

当院へのアクセス方法



高速道路から

瀬戸中央道の水島インターで「玉野岡山方面」出口から一般道へ。二つ目の信号交差点「郷内」を右折し、すぐ次の信号を左折（水島インターより約3分）。



一般道から

県道児島線（21号線）を児島方面へ向かい、水島インター手前のガンリンスタンド（ENEOS）のY字路左側。



JRでは

JR瀬戸大橋線の茶屋町駅で下車、タクシーで約10分。



バスでは

倉敷駅前バスステーション6番ホームから下電バス「JR児島駅行き（天城線）」で約40分。「チクバ外科前」バス停にて下車、徒歩約1分。



チクバ外科

胃腸科・肛門科病院

〒710-0142 岡山県倉敷市林2217

TEL 086-485-1755 / FAX 086-485-3500

診療受付時間

午前8:30～11:30 / 午後1:00～5:30

ストーマ外来は予約制です。

<http://www.chikubageka.jp>

	月	火	水	木	金	土
午前	たき 瀧 上	嶋 村	たき 瀧 上	休 診 日	たき 瀧 上	鈴 木
	嶋 村	鈴 木	ちくば 竹馬 彰		嶋 村	根 津
前	ちくば 竹馬 彰	谷 浦	鈴 木		ちくば 竹馬 彰	谷 浦
	谷 浦	垂 水 (胃腸内科)	根 津		根 津	垂 水 (胃腸内科)
午後	垂 水 (胃腸内科)		嶋 村		垂 水 (胃腸内科)	
	鈴 木	根 津	嶋 村 垂 水 (胃腸内科)(再診予約)		谷 浦	ちくば 竹馬 彰 垂 水 (胃腸内科)(再診予約)

2018年4月～